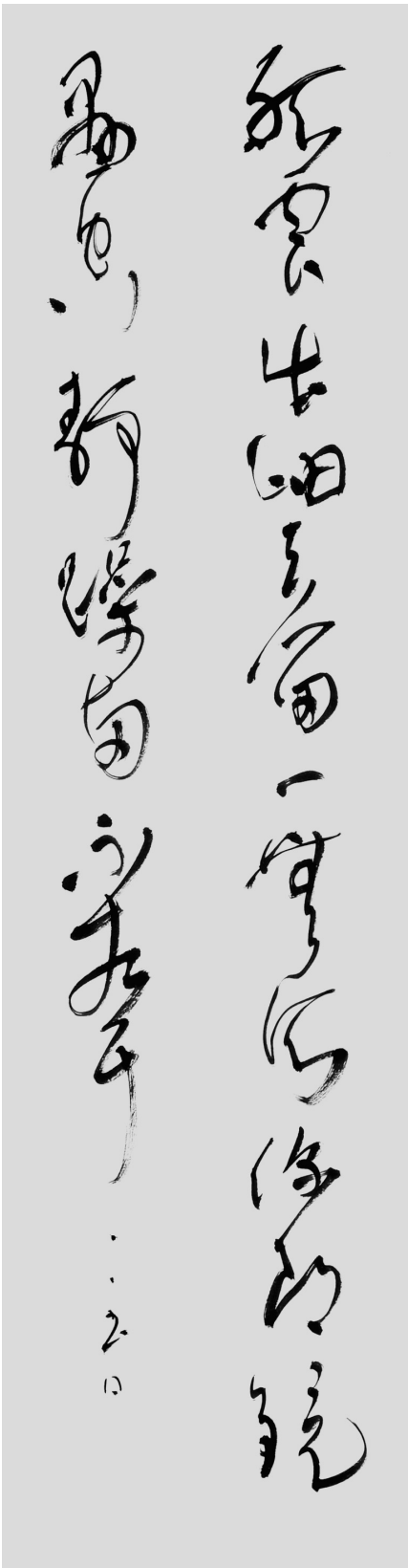


条幅部自由参考

2月27日正午必着

明石春浦先生書



孤雲出岫、去留一無所係。
朗鏡懸空、靜躁兩不相干。

(菜根譚講話)

谷から湧き出た白雲は、去るも留まるも思いのまま、何事にもとらわれない。空にかかった明月は、地上のさわがしさにも静けさにも、わずらわされることはない。

明石幸子書



窗下有清風 (白居易)

窓辺に清風がおとずれる。



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

林間鶴帶雲還(倪瓚)

林間鶴雲を帯びて還る

鶴が大空から舞いおりてくる。

門前楊柳二三月。枝條綠煙花白雪。(王安石)

門前の楊柳二三月。枝條は綠煙花は白雪。

春月柳が芽を吐き花を白くつけること。楊柳は柳の屬、詩經に楊柳依々と。

新年作 (宋之問)

新年の作 宋之問

郷心新歲切 天畔獨潸然
老至居人下 春歸在客先
嶺猿同旦暮 江柳共風煙
已似長沙傳 從今又幾年

郷心 新歲に切なり 天畔 ひとり潸然たり
老至 人の下に居り 春歸 客の先に在り
嶺猿 旦暮を同じうし 江柳 風煙を共にす
已に長沙の傳に似たり 今從り 又た幾年ぞ

水の音に似て啼く鳥よ山ざくら松にまじれる深山の晝を (若山牧水)

半紙部規定課題A

2月27日正午必着

臨燈
水影
半

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月27日正午必着

行書

臨燈影半
臨水影半

隸書

臨燈影半
臨水影半

明石春浦先生書

草書

臨燈影半
臨水影半

行草書

臨燈影半
臨水影半

夜になって、楚の家々の盛に煙たちのぼる地域にはいった。煙の中に、人々はまだ眠らずにいる。淮水の岸辺の眺望を極めつくし、舟中に坐したまま酒樓の前についた。灯火の影は半ば水を照らし、あたりの船の中からしきりに箏のしらべがきこえる。流れに乗って東をさして行こうとするが、この地を離れて行けば、たちまちに年月が過ぎることであろう。

夜泊淮陰 項斯

夜入楚家煙
煙中人未眠
望來淮岸盡
坐到酒樓前
燈影半臨水
箏聲多在船
乘流向東去
別此易經年

夜 淮陰に泊す 項斯

夜 楚家の煙に入る
煙中 人未だ眠らず
望み來つて 淮岸尽き
坐して到る 酒樓の前
燈影 半ば水に臨み
箏聲 多く船に在り
流れに乗じて東に向かつて
去る

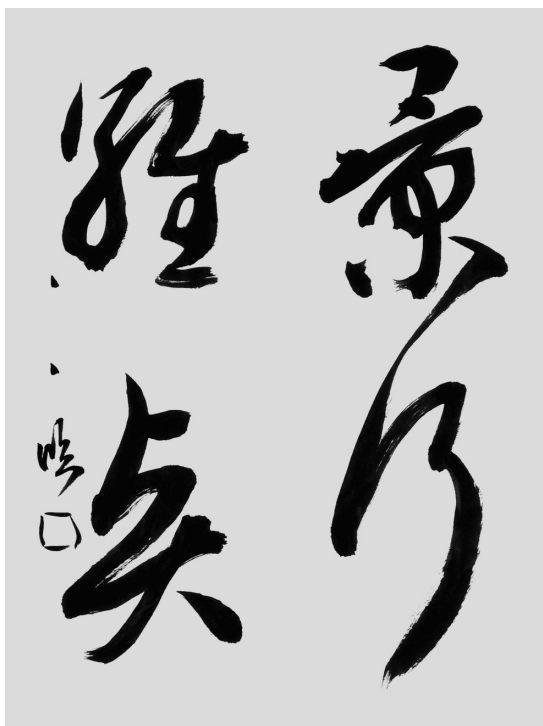
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

靡恃已長 信使可覆 器欲難量 墨悲糸染 詩讚羔羊 景行維賢 克念作聖 德建
 景行維賢 克念作聖 德建
 景行維賢 克念作聖 德建
 景行維賢 克念作聖 德建

靡恃已長、信使可覆、器欲難量、墨悲糸染、詩讚羔羊、景行維賢、克念作聖、德建
己が長を恃む靡かれ。信は覆むべから使め、器は量り難からんことを欲す。墨は糸の染るを
 悲しみ、詩には羔羊を讚せり。景行あるは維れ賢なり、克く念えば聖と作る。徳建てば



景行あるは維れ賢なり、克く念えば聖と作る。



景行あるは維れ賢なり、

隋 智永・真草千字文

智永は生没年は不詳であるが、梁の時代の五三〇年頃の生まれで、隋の時代まで生存していたであろうと言われている。彼は王家の家系で、書聖・王羲之の七代目の子孫にあたり、王家の書の伝承者として隋・唐の時代から高く評価されていたらしい。

千字文はもともと梁の武帝が八人の王子の書の学習の為に、殷鉄石に命じて王羲之の文字を重複しないように千種類写し取らせ、更に周・興嗣に命じて、韻を踏んだ四言二五〇句の文章を作らせたものである。

智永は、出家人道して学書に専念し、毎日寺の二階にこもって、真草千字文八百本を臨書し、諸寺に施入したと伝えられている。真草千字文は草書を憶える便を考え、楷書と草書が並べて書かれているものである。

ここにあげた千字文は、幕末明治の頃に日本に伝わった真蹟本であるとされている。真書つまり楷書は文字の大小があまりなく、きちんと並べて書かれているので一見平凡に見えるが、細かく観察してみると肥瘦強弱のある点画を配し、豊かな変化があり、行書的に書かれているところもある。草書は楷書よりやや大きめで、肉太に書かれている。一字一字みな筆法が異なっており、一字中の各部分の大きさや態勢を呼应させ、空間の配置に変化があり、王法の伝統を伝えようとする姿勢をうかがわせる書と言えよう。

2月27日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

きゅう
宮

でん
殿

中学一年



菅井松雲先生書

せい
静

じゃく
寂

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



と
都

かい
会

小学五年

榎戸春龍先生書



て
手

ちょう
帳

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月27日正午必着



ぶん

か

小学三年

藤田幸春先生書



て

がみ

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

つ る 小学一年・幼年



森戸春濤書

すこ し 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

船はしだいに遠ざか
り水平線からきえた

小学五年

山はだを雄大に流れる川
は寒い冬もっおらない

小学六年

丘の多い岸に鋭く縁
どられた色あせた湖

中学

いのち短し恋せよ乙女
来きくちびる褪せぬ間に

一般(級位)

山やまふかみ 春はるともしらぬ 松まつの戸とに たえだえかかる 雪ゆきのたま水みづ
(式子しきし内親王ないしんのう)
にたえかかるとる雪のたま水

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ふ	お
く	に
は	は
う	そ
ち	と

幼年

ゆ	つ
き	め
に	た
か	い
わ	雨
	つ
た	が

小学一年

ま	せ
め	つ
ま	分
ま	の
き	日
を	は
す	は
る	

小学二年

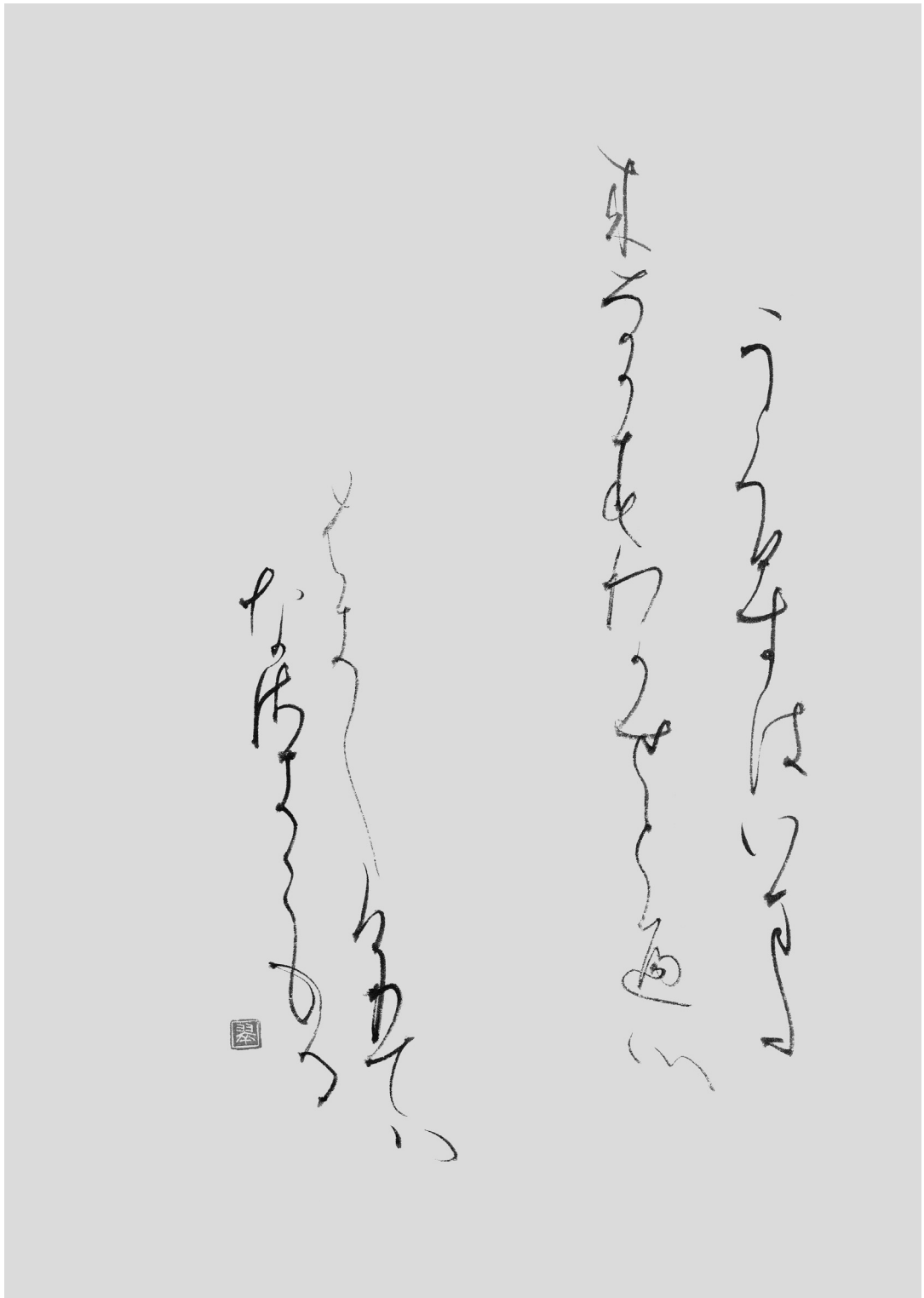
い	ま
雪	ど
げ	の
し	外
き	は
で	美
す	し

小学三年

こ	方
と	言
ば	に
が	は
の	日
こ	本
っ	の
て	古
い	い

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



松永翠舟先生書

うぐひすは
日いまだ来なかず
万わがせとへ
多つばきしげりて
奈はなさきこもる
可
春
可
通
川
者
支
介
利
八
佐
支